

【頭頸部・耳鼻咽喉科】

1. 概要・特徴

当科で扱う領域は耳鼻咽喉科(聴覚器、鼻副鼻腔、咽喉頭、口腔)および頭頸部外科である。英語圏ではHead&Neck surgery と記載されるため日本では頭頸部外科と現されている。日本語の頭部と英語のHeadは概念的には一致していないが、このように表記されます。

この領域の疾患を診断、治療、フォローアップを一貫して診療する。

聴覚、平衡、嗅覚、味覚などの感覚器の疾患、発声・嚥下・呼吸などの機能的疾患、炎症疾患、腫瘍性疾患など幅広く扱う。

2. 一般目標

1)当科の疾患について適切な診断、治療を行うことを目標とする。そのため、基本的な臨床知識を習得し、診断に必要な問診、診察、検査を行えるようにする

2)各疾患に対する概念を覚えて診断に必要な検査、診断および治療方法をだまかに捉えるようにする。当科で診療すべき疾患を理解する。

※2回目以降のローテートをする場合、特に当科を専攻予定の場合は具体的な薬物療法、化学療法、手術を理解し、指導医の指導のもと、具体的な診療を行えることを目標とする。

3. 行動目標

1)患者の病歴聴取とカルテ記載ができる

2)耳鼻咽喉科疾患の診断に必要な視診・触・内視鏡の操作が出来る様にする。

3)診断に必要な検査を選択し実施できる

4)疾患ごとに病態から適切に治療方法を選択し、治療を指導医のもとで実施できる

5)救急疾患において、診断、治療および他疾患の除外診断を行うことができる

4. 研修方略

1)当科診療チームの一人として指導医・専門医の指導のもと、外来・入院患者の診察にあたり、患者への対応方法、病歴聴取を習得し各疾患の理解を深める

2)毎日回診を行い、身体診察、創傷処置、術後処置などの基本手技、術後管理の理解を深めるとともに、SORPに沿ったカルテ記載を習得する

3)外来・入院患者に内視鏡・生理検査・エコー検査等を実施し評価する

4)救急診療において、指導医・専門医と患者を診察し、検査・診断・治療方法を研修する

5)手術に参加し手術の基本手技を理解し習得する

※2回目以降ローテートする場合は、指導医・上級医が研修医の能力レベルを見極め個別に判断し研修を実施する

5. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診 外来	病棟回診 外来	病棟回診 外来	カンファレンス 病棟回診 手術	病棟回診 外来
午後	外来	手術	手術	手術	外来
夕 16:40頃	回診	回診	回診	回診	回診

6. 指導体制

総括責任者 和田 哲 治(第一耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長兼院長補佐)

指導者 石 田 芳 也(第二耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長)

7. 研修の評価

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に準ずる。